

KFA 第2回熊本県シニア0-65サッカーリーグ 大会要項

1. 選手資格	男子は1961年(昭和36年)4月1日以前、女子は1986年(昭和61年)4月1日以前に生まれた者とし、日本サッカー協会に選手登録した者とする。女子については人数制限は設けない。
2. 参加チーム	熊本県サッカー協会に所属するチームとする。但し合同チームも可とする。
3. 監督	監督は、公認指導者資格を有する者が望ましいが、当面は資格にこだわらない。
4. 試合方法	① 各パート2回戦総当たりとする。 ② 試合時間は40分ゲーム(20-5-20)とする。 ③ 選手交代は主審に通告し、何名でも可。再出場可。 (a)7名以上で試合成立とし、人数不足でも試合成立の場合、得点等はそのまま成立。 (b)人数不足(借りた場合含み)で試合が成立しなかった場合は3対0とする。 (c)人数不足の場合、練習試合となるので得点者の記録なし。 ④ 順位決定は、試合の勝者には勝点3点、引き分けには1点、敗者には0点を与え、勝点の多い順に決定する。ただし、勝点合計が同点の場合は以下の順序により決定する。(1)得失点差 (2)総得点 (3)該当チームの対戦成績 ⑤ 試合の運営は、試合当日の当番チームによって行う。 ⑥ 競技規則は、2025年度日本サッカー協会規則及び本大会の特別ルールによるものとする。
5. 中止・延期等	① 災害・悪天候・グラウンド不良による試合開催の判断は、前日12時迄にシニア委員会が判断し、各チームに連絡する。 ② 試合開催日当日の自然災害・悪天候・グラウンド不良による試合開催の判断は、各チームに配布してあるガイドラインに沿って会場当番・審判・チーム代表者で協議決定する。
6. ユニフォーム	ユニフォームについては、正副2色(ゲームシャツ、ゲームパンツ、ストッキング、GK用共)を用意する。
7. 懲戒の罰則	① レッドカードを受けた時は、次の1試合には出場できない。 ② イエローカードが累積3枚以上になったときは、次の1試合に出場できない。 ③ その他の懲罰については、リーグ委員会で協議の上決定する。 ④ 決定事項については、速やかに各チーム代表者に伝える。
8. 審判	① 各チーム最低3名以上の審判有資格者を登録すること。 ② 主審はシニア委員会、線審・第4審判は対戦チームで行う。 ③ 主審は有資格者とする。 ④ 審判当番チームに1試合あたり3,500円を支払う。 ⑤ 対戦チームは対戦時刻の30分前に当日出席者を記載したメンバー表を、会場当番チームに1部提出すること。 また、当番審判チームは対戦チームのチェックを10分前には終了すること。 ⑥ 試合結果は会場当番チームに報告する。レッドカード及びイエローカードを審判が使用した場合は、会場当番チームはその理由を規定の用紙に記入し、規律委員長に報告する。なお、レッドカード及びイエローカードを審判が使用しなかった場合も会場当番チームはその旨文書にて、規律委員長に報告する。 ⑦ 総括責任者は審判委員長とする。
9. ボール・AEDの管理	会場当番の責任者は、日程表に記載してあるボール・AEDの担当チームに責任をもって渡すこと。ボール・AED担当チームの責任者は、管理、保管し、次節開催日に会場当番チームに渡すこと。
10. 参加料	チーム参加料を徴収する。
11. 競技結果	(一社)熊本県サッカー協会及び熊本日日新聞社運動部へ報告する。

会場当番の仕事

1. 試合開始1時間前までに会場にくること。
2. 試合結果の記録(全試合)をする。
3. メンバー表(1部)を試合開始30分前に集める。
4. 試合結果、得点者及び警告等を当日中に報告すること。
報告先 FAX.096-382-9788 またはメール : lanza@gem.bbii.jp 白井まで
5. 会場の片付け・清掃等の確認をする。

会場準備及び片付け

1. 会場の準備・設営は、第1試合の2チームで設営し、試合開始30分前には設営完了すること。
2. 会場の片付けは、最後の試合の2チームで、ゴールの移動・ベンチ周辺の清掃等、責任をもって行うものとする。

※ベンチやピッチ周辺での喫煙は厳禁です！

※グラウンド内へお子様やペットが入らないようにご注意ください！